



写真は全て新館イメージ図

和歌山県立紀伊風土記の丘は昭和46年(1971)8月2日に開園してから55年目を迎えました。令和10年下期には紀伊風土記の丘再編整備事業の目玉として和歌山県立考古民俗博物館(仮称)の開館を予定しており、現在、新館の建築工事を進めているところです。

令和8年(2026)は昭和元年(1926)から起算して満100年を迎えます。岩橋千塚古墳群に目を向けると明治40年(1907)に調査されてから100年以上が経過し、史跡に指定されたのが昭和6年(1931)、特別史跡に指定されたのは昭和27年(1952)のことでした。

さて、紀伊風土記の丘は、昭和41年(1966)から開始された文化庁の「風土記の丘」設置事業により昭和46年8月2日に全国で3番目に誕生した風土記の丘になります。資料館では岩橋千塚古墳群をはじめとした考古資料と県内の民俗資料の調査・研究・展示を実施しています。

開園後の紀伊風土記の丘では、復元竪穴住居やミニ水田を設置し、教育普及の充実を図り、多くの小学生が遠足や社会見学で訪れ、古墳群を歩き、ハニワやまが玉づくりをはじめとしたイベントを体験するようになりました。

本展では、パネルを通じて紀伊風土記の丘の博物館活動がどのような移り変わりを経て、現在を迎えてきたのか、その軌跡を紹介します。



和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-0103 和歌山市岩橋 1411 TEL/073-471-6123

紀伊風土記の丘資料館は只今長期休館中

令和10年度下期、パワーアップ!!

リニューアルオープン

詳しくは
当館ホームページ

